

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023.10.2
作成 高齢者支援センター	町田第1
作成者	斎藤 美和子

1.開催日時	2023.11.27	19:00	～	20:30
2.会場	特別養護老人ホーム commons 1階ひろば+オンライン			
3.主催センター	町田1	町田2	町田3	
4.参加人数	19名			
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人	<input type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 7人 (うち、医師 1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 2人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input checked="" type="checkbox"/> 住民 人	
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政 人	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (薬科大学地域医療部門 教授・助教授 2名)			
6.開催テーマ	フレイル予防啓発リーフレットの活用に向けて			
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>約3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する、外出自粛や地域活動の縮小、また社会生活が回復する段階で現在進行しているフレイルについて、フレイルについての正しい理解・フレイル予防の啓発を強化する必要がある。</p> <p>一部の健康増進への関心層のみが参加する、あるいはハイリスク高齢者のみが対象・参加ではなく、地域の誰もがフレイルを知り自ら予防や支援に取り組むことができる地域社会全体へのヘルスマーション(人々が自らの健康をコントロールし改善できるようにするプロセス)が必要である。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フレイル」についての重要性を、市民に広く周知するために必要な機会構築が充分になされていない。 ・高齢者本人だけではなく、家族も含めて繰り返し理解と促進が充分にされていない。 ・本人の状態に応じた取り組みを行うためには、多職種が正しい知識を身につけ、連携して取り組むことが充分にされていない。 ・社会参加を促進する為の地域との協働が充分にされていない。 			
8.会議の内容	<p>前年度作成したリーフレット活用の検討を通して、対象者へアプローチする際に留意すべき点がいくつか判明した。『地域で高齢者自らがフレイル予防に取り組み、健康増進を図っていく必要がある』という意識を共有するためのスローガン検討⇒『ストップフレイル！毎日えがお』に決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者自らが取り組み、頑張りが見える・効果が見えるツールとしてチャレンジカードを作成、試用した事例を共有した。 ・試用した結果、その方に適した提案の難しさや測定機器についての課題が上がる。 ・2023.12～2024.1の2か月間をトライアル期間とし、推進会議メンバー自らフレイル予防の取組を行う。 ・フレイル予防啓発トライアルに期待する効果について協議を行う。 ・2023.2月拡大会議の企画について検討を行う。 			
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を営みながら、望む生活を選択できる地域になるために、地域住民に向けて各専門職が継続的に伝えていくだけではなく、地域の高齢者自らフレイル予防に取り組み健康増進を図っていく必要がある。また、取組の見える化や実感できる評価指標を設定することで、モチベーションアップと取組の継続に繋げていく。 ・作成したチャレンジカードを用いて試用し、その効果と課題・普及方法について検討するため2024.2.16に拡大会議を開催する。 			
10.その他				

医療と介護の連携支援センター 確認日

12月6日